

# パブリックコメント実施結果報告書

平成22年7月13日

(担当課)	特別支援教育課
(担当者)	楠田
(連絡先)	0857-26-7958

テーマ： 県立高等特別支援学校設置に対する意見募集

<手段別意見応募件数> (意見件数を記入してください。応募者数は( )書きしてください。)

(記入例：1人が提出したものに3つの意見が記載されていた場合 3(1)と記してください。)

郵便	ファックス	電子メール	県民室・ 県民局へ	その他の 方法	計
( )	( )	14(14)	( )	( )	14(14)

その他方法の例：意見交換会、電話、イベント等

## <応募意見の政策案等への反映状況>

高等特別支援学校の設置場所・開校時期・設置規模・寄宿舍・教育内容に関する県教育委員会の考え方についての意見募集を行った。その結果、設置場所はパブリックコメントにおいて賛成が多かった旧赤碕高等学校とすることに、6月定例教育委員会で決定した。開校時期・設置規模・寄宿舍設置等については設置準備委員会において検討中であるが、概ね肯定的な意見が多かったことをふまえ、教育内容も含め、少数意見についても十分に配慮しながら、今後の検討を進めていく予定である。

意見項目	件数	主な意見
設置場所について	妥当・賛成等、肯定的な意見(9) 2校または3校設置すべきという意見(2) 鳥取・米子または倉吉市内が適当という意見(2) その他(1)	・鳥取県を東中西部とみた場合、利便性を重視すれば立地条件は中部に建設することが望ましい。 ・東部と西部の人口が多いから、規模が小さくても東部と西部に1校ずつあったほうがよい。 ・寄宿舍設置を打ち出しているならば、交通の利便性を検討する必要はなく、東部、西部に設置するべき。
開校時期について	よい、妥当であるという意見(4) 仕方ない、できるだけ早くという意見(4) 遅い、もっと早くという意見(4) その他(1) 無記入(1)	・工事面・教育面の準備がしっかりと整えば、H25年の開校でよい。不十分な状態での開校は問題有り。 ・必要以上に開校時期が伸びるのは良くない。 ・高等特別支援学校については昨年からの検討・準備されており、開校までに4年もかかるのは遅すぎる。
設置規模について	よい、適当であるという意見(8) もっと大きく、希望者全入という意見(1) 調査を行ってからという意見(2) その他(3)	・普通校の学校統廃校・クラス数の見直しがあるように、開校後も見直しをすればよい。 ・統計(調査)に基づいての設置規模であればよい。 ・年々、障害のある子供たちが増えてきている現状を考えると、生徒の規模は余裕を持っていたほうがよいのではないかと。
寄宿舍について	賛成という意見(12) 検討要素はあるが賛成という意見(1) 疑問、反対という意見(1)	・県内1校ということならば、必要になると思う。 ・寄宿舍の設置は必要であり、寄宿舍においても特別支援教育の視点による生活上の支援が行われることに期待する。 ・過去に寄宿舍のあった学校、現在寄宿舍のある学校の寄宿舍の実情を考えると充実しているとはいいたい。設置には反対である、
教育内容について	・企業と連携した教育、就職先に合わせた教育、専門的な教育など職業教育と進路指導の充実に関すること(8) ・地域性を生かした鳥取県独自の取組(2) ・将来の自立につながる教育(2) ・その他(2)	・長期的に見た就業現場の雇用を考えた教育内容であってほしい。 ・学校を設置するだけでなく、就職時において受け入れの態勢(受け皿)を整えていく必要があると思う。 ・鳥取県だからこそ出来る教育も検討して頂きたい。 ・知的障害のない発達障害の子どもたちのことについても、個々に必要な高等教育が受けられるよう、ご配慮をお願いします。

<意見募集結果概要書を、1部添付してください。>

とりネットのパブコメページ・  
県庁ロビー掲示板で公表します。

他の公表方法として該当するものに を付してください。

とりネット (実施担当課)	報道機関への 資料提供	県議会への報告	県民室等での 縦覧等	広報誌等への 掲載	その他

その他：県立高等特別支援学校設置準備委員会へ報告